

2019年 学校関係者評価
報告書
(2018年度)

学校法人滋慶学園
東京スポーツ・レクリエーション専門学校

作成日：2019年6月12日

学校法人 滋慶学園 東京スポーツ・レクリエーション専門学校
2019年 第1回学校関係者評価委員会議事録

議事録作成者：中村 裕子

1. 開催日時 2019年6月12日(水) 15:30～17:30
2. 開催場所 東京スポーツ・レクリエーション専門学校
3. 参加者 **学校関係者評価委員 ※敬称略**
白川 創一 業界代表 (新) (株式会社F 代表取締役)
森下 邦恵 保護者代表 (新) (スポーツビジネス科)
西 実伸 近隣関係者 (江戸川区アメリカンフットボール連盟 副理事長)
阿部 幸夫 卒業生代表 (スポーツトレーナー科(スポーツヘルス科))
前田 弘 業界代表 (公益社団法人 日本サッカー協会 アスレティックトレーナー)
清雲 栄純 業界代表 (法政大学スポーツ健康学部 教授)
森 章 高校関係者 (拓殖大学紅陵高等学校 学校長)

学校側参加者

| | | |
|-------|---------------------|------|
| 関口 正雄 | 東京スポーツ・レクリエーション専門学校 | 学校長 |
| 後関 慎司 | 〃 | 副学校長 |
| 中村 聖之 | 〃 | 事務局長 |
| 植田 慎司 | 〃 | 教務部長 |

〈自己点検・自己評価委員より参加〉

| | | |
|-------|---------------------|-------------|
| 永野 隆志 | 東京スポーツ・レクリエーション専門学校 | キャリアセンター長 |
| 鈴木 朋 | 〃 | 広報センター長 |
| 中村 裕子 | 〃 | 学生サービスセンター長 |

4. 会議の概要

(1) 学校長挨拶

この会議は職業実践専門課程という専修学校専門課程について、文部科学省が様々な要件をクリアした学校について直接的に認定する制度であり、学校関係者評価委員会は学内にて運営について自己評価した内容を更に学校に関係する委員の方から評価をいただく機会である。厳しく評価をしていただくことで更により良い学校運営を行っていくうえで重要となる会議である。

(2) 各委員の紹介

・新委員のご紹介

保護者代表 前委員は学生卒業の為、今年度に入学のスポーツビジネス科森下さんが就任となる。

森下さんの上のお子さんは2018年度、同校のスポーツトレーナー科を卒業している。

- ・業界代表 前委員は業務地方展開の為、辞任。新委員として白川氏が就任。白川氏はアディダス、リーボックを経てスポーツ業界に幅広く知見があり業界に関する多くの意見が期待できる方である。

(3) 2018年度自己点検・自己評価報告と2019年度重点目標について

- ・別紙、評価表を参照し各担当者より報告。

(4) 委員からの意見

- ・入学直前に骨折。朝の満員電車での登校が困難になった時、大丈夫ですよという先生の言葉が支えだった。こんなに寄り添った対応をしてもらい本当に大丈夫だと安心できた。上の子は学校生活も順調であまり不安を感じることが無かっただけに、親の不安も救ってくれる対応だった。
- ・学生の実習を受け入れているが、教員も含め学生達が熱心で助かっている。職員の担当が変わり、実践的に学生に指導を行っており例年より学生の技術が向上している。
- ・業界の変化が著しく、学校も対応が大変だと思う。教育の内容や設備、資格等、学校も変化が求められている。健康実践指導士の資格は高齢化社会に向けて注目されているがTSRで取得しているのは健康実戦指導者である。求められる資格も変化しているので見直しも必要。資格の合格率も更に上げていけるように対策授業を増やす、講師を変える等も必要ではないか。

- ・スポーツの業界はグローバルが必須。抵抗なく海外に視野を向けられる教育を取り入れて欲しい。
- ・東京オリンピックが近くなり、アマチュアが競技する場が激減している。オリンピック後は、競技施設の利用が課題となってくる。スポーツ業界が直面する課題に対応できる人材の教育をして欲しい。

5. 次回、2020年度学校関係者評価委員会
2020年6月予定

6. 評価結果およびご意見に基づく改善方策
別紙掲載

7. 副学校長よりあいさつ

皆様のご意見が今後の学校の方向性を決定していく。鋭いご指摘もあり、課題と捉え運営に役立てていきたい。